

環境性・経済性から蓄熱システムを導入、省エネルギー・省コストを実現

【贈呈理由】空調改修および新築工事でエコ・アスを導入し、省エネルギーを実現



三朝町役場

鳥取県中部に位置する三朝町は、四方を山に囲まれ、美しい豊かな自然に恵まれた人口約7,000人の町である。町内には、三徳山(現在、ユネスコ世界遺産への登録を目指して活動中)の北側の断崖絶壁に建立された国宝「三佛寺投入堂(さんぶつじなげいれどう)」や高濃度のラジウム温泉が湧出する三朝温泉があり、年間を通じて多くの観光客で賑わっている。

三朝町では庁舎の空調設備(チラー・ボイラ)の老朽化が進み、故障も頻繁に発生するようになったことから、2010年に更新を行った。空調熱源につ

いては、環境性・経済性などを総合的に判断して電気式空調の導入を決定。特に使用頻度の高い1階フロアは、夜間電力の有効活用でさらなるランニングコストの低減が見込めるエコ・アスを、2階フロアは電動ヒートポンプ(個別分散)の導入を決定した。設備更新が完了して2年経過したが、ランニングコストも計画どおり低減している。

また同町では、以前から環境保護・省エネルギーを重視してヒートポンプ・蓄熱システムの導入に努めており、04年に「三朝町立賀茂保育園」にエコ・アスを、蓄熱式電気床暖房を導入している。さらに、13年3月に竣工予定の「みささこども園(仮称)」においてもエコキュートを導入する予定である。

今後も町の施設の建て替えやリニューアルの際は、環境性・安全性・経済性に優れたヒートポンプ・蓄熱システムへの更新を検討していく。

主な蓄熱設備導入実績

三朝町庁舎	2010年更新
エコ・アス(個別分散) 20馬力相当×4台(三菱電機)	
三朝町立賀茂保育園	2004年
エコ・アス(個別分散) 20馬力相当×2台、16馬力相当×2台 (三菱重工業)	
電気温水器 460ℓ×5台(三菱電機)	
三朝町調理センター	2004年
電気温水器 550ℓ×20台(三菱電機)	